



2016 ~ 2017 年度
R I テーマ

Rotary Serving Humanity
人類に奉仕するロータリー

国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム (国籍・アメリカ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ 別府亀の井ホテル 〒874-0936 別府市中央町5-17
TEL (0977) 22-3301 FAX 21-1232
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

| | | | | | | | | |
|----|-------|----|-------|-----|-----|-------|-------|-------|
| 理事 | 梶原 和朗 | 理事 | 近藤 賢司 | 役員 | 会長 | 梶原 和朗 | S A A | 平野 教康 |
| 〃 | 佐々木久宜 | 〃 | 村津 忠久 | 副会長 | 副会長 | 佐々木久宜 | 直前会長 | 平野 教康 |
| 〃 | 平野 英壽 | 〃 | 後藤 隆 | 幹事 | 幹事 | 梅津 圭二 | | |
| 〃 | 亀井 孝 | 〃 | 森園 伸也 | 会計 | 会計 | 土谷 昌志 | | |

VOL. 29 - 16
2016年10月25日

第1300回例会

会報委員長 森 宗明

- ◆点 鐘 12:30
- ◆R S 四つのテスト
- ◆唱 歌 旅愁
- ◆ゲスト 森 北実氏
(株)クリエイツ専務取締役

会長の時間 直前会長 平野 教康

皆さん、こんにちは直前会長の平野教康です。
本日は梶原会長、佐々木副会長が欠席のため会長の時間は私がいたします。
今日の卓話をしていただく(株)クリエイツの森社長の奥様には大変楽しみにしています。実は私と嫁さんも本を11冊購入しています。森様の朗読により日本の歴史が楽しく理解できると思います。皆さんしっかり聞きましょう。

幹事報告 梅津 圭二

一経済と地域社会の発展月間・米山月間一

1. 本日の卓話
「日本神話朗読」
(株)クリエイツ専務取締役 森 北実氏
2. 本日のゲスト
森 北実氏 (株)クリエイツ専務取締役
3. 大分県産婦人科医会より「おぎゃー献金運動」協賛への感謝状が届きました。本日も披露いたします。
4. 10月23日(日)12:00~はちまんの郷宇佐に

◆出席報告 委員長 津末美代子

| | | |
|----------------------------|-----------|---------|
| 本日 の 出 席 | 会 員 総 数 | 26 名 |
| | 出 席 者 | 13 名 |
| | 事前メイクアップ | 0 名 |
| | 理 事 会 承 認 | 0 名 |
| | 出 席 免 除 | 4 名 |
| 前 々 回 の 訂 正 | 欠 席 数 | 9 名 |
| | 出 席 率 | 59.09 % |
| | 出 席 率 | 60.87 % |
| | 事後メイクアップ | 2 名 |
| | 理 事 会 承 認 | 0 名 |
| 10/11 | 出 席 免 除 | 3 名 |
| | 修 正 出 席 率 | 69.57 % |
| 連 続 一 回 | | |
| 通 算 750 回 | | 100 % |

・メイクアップ

事前
事後 堀 (別府)
梶原(和)(宇佐RC創立50周年)
欠席 堀、梶原(和)、前田、森園、梶原(茂)、
中尾、大島、佐々木、土谷
理事会承認
出席免除 溝部、河村、平野(英)、木村

- 於いて「宇佐RC創立50周年記念式典」が開催されました。
出席者：梶原和朗会長、梅津圭二幹事、村津忠久会員(登録)
5. 10月24日(月)19:00~野口原ソフトボール



場に於いて別府北RCとのソフトボール練習試合を開催致しました。

出席者：平野教康、梶原茂樹、亀井孝、近藤賢司、森園伸也、佐々木久宜、西馬良和、梅津圭二 各会員

6. 委員会報告

○ロータリー探求No.549「わたしの皮膚科医としてのルーツ」鳴海 淳郎 R情報委員長

7. お祝い

結婚記念日 佐々木久宜会員 (10月30日)

8. 例会変更のお知らせ

大分RC 11月8日(火)の例会は、夜間例会の為 18:30~大分オアシスタワーホテルに時間・場所変更

中津平成RC 11月10日(木)の例会は、向笠公園清掃例会の為、同日12:00~向笠公園に場所変更

宇佐RC 11月10日(木)の例会は、四クラブ合同グラウンドゴルフ大会及び親睦例会の為、11月8日(火) 13:00~はちまんの郷宇に日時・場所変更

9. 次週例会の予定

「未定」

10. 本日の回覧

①くにさき・中津中央・中津平成RC 週報

②「もみじ谷奉仕作業」出・欠席(11月3日(祝・木))

③別府市自衛隊協力会より「扇山」

11. 本日の配布

①週報No.1297、1298、1299

②ガバナー月信Vol.04

③2016-2017年度地区大会のご案内

④ロータリー探求No.549「わたしの皮膚科医としてのルーツ」鳴海淳郎R情報委員長

会いすることができ、大変嬉しく思います。これを記念して大いにスマイルしたいと思います。

○平野(教)会員

森北実様、いつもご主人にお世話になってます。本日の卓話、楽しみにしています!

○梅津会員

森様、本日はよろしくお祈りします。

今週はいよいよソフトボールの大会です。がんばりましょう。

○後藤会員

北実ちゃん、ようこそ。おもしろいお話をお願いしますネ。

○近藤会員

昨日、ソフトボール大会の優勝候補、別府北ロータリークラブと練習試合を行いました。皆さん驚かないでください。引き分けだったんですよ! 前回の練習試合で勝った時はマグレだと思っておりましたが、ひよっとするとひよっとするかもしれませんよ。森さん信じられますか?

○亀井会員

本日の卓話、森夫人の朗読ですネ。ステキな声の語り口と思います。大変楽しみにしています。

○村津会員

別府市民合唱祭の本番は、いよいよこの週末に迫りました。

みなさん、是非聞きに来て下さい。

宣伝とお願いに代えてスマイル。

○衛藤会員

朝夕は肌寒さを覚える頃となりました。今日は森様、ようこそお越し下さいました。卓話、楽しみにしています。どうぞごゆっくりなさって下さいませ。

○森会員

公式訪問資料が出来損ないでしたので差し替えをお願い致します。申し訳ありません。

今日は私の卓話ですが、家内に助けてもらいます。

○高宮会員

森北実専務、本日の卓話を楽しみにしています。

別件ですが、スマイル委員会の副委員長、木村きぬゑさんが春香苑駐車場に和食の店をオープンしました。安くておいしいと思いますが、和はまだ行っていません。

スマイルボックス 委員長 高宮 勝美

○鳴海会員

本日は委員会報告をして「わたしの皮膚科医としてのルーツ」を報告することができ、また日頃より「日本神話」に興味をもち、その資料を待合室に展示して患者さんに供覧して貰っていますが、本日はその提供者である森クリエイツ専務取締役の森北実さんが例会に出席してお



卓話

「日本神話朗読」

㈱クリエイツ専務取締役
森 北実 氏

古事記・日本神話

作家 伊東 利和氏は日本神話を以下のように解説しています。

「古事記」はおおよそ千三百年前に編纂されましたが、そのときに作られた物語ではありません。「古事記」の序文にもあるように、その頃、既に「日本の神話」はそれぞれの家ごとに様々に語り伝えられ、オリジナルの物語がどういうものがわからなくなりかけている状態でした。その様々な語られ方をしてきた物語を整理して、1本のお話にして書き残したのが「古事記」です。

これはもともとのお話ができてから、相当の歲月、文字のない時代からずっと語り継がれてきたということでしょう。

ではいつからでしょうか、弥生時代？縄文時代？石器時代？わかりませんね。

でも想像してみてください、一万年前の竪穴式の住居の中で、毛皮か何かの寝具に親と子がくるまってこのお話をしていたかもしれないのです。遠い過去から「親から子に語り継ぐ」ことによって「日本の神話」は現在まで伝えられました。そして、遠い未来まで「親から子に語り継ぐ」ことによって「日本の神話」が伝えられていって欲しい、そう願っています。

皆さんはギリシャ神話をご存知でしょうか、例えば、オリンポスとかポセイドンとかの名前を聞いたことがありますか。

ギリシャ神話は古代ギリシャ市民の教養として、さらに古代地中海世界の共通知識でもありましたが、今ではギリシャ神話は広く世界的に知られています。

ギリシャの小学校では「ギリシャ人にとって欠かせない教養」として、今でも、そしてこれからも大切な歴史教科の一つなのです。

イギリスの歴史学者アーノルド・J・トインビー氏は「12～13歳までに民族の神話を学ばなかった民族は必ず滅びる」と言う言葉を残し、自国の神

話や歴史を学ぶ事の大切さを強調しました。

どうぞこれを機会に「日本神話」に触れて見てください。



日本神話 第4巻 八岐の大蛇

天の岩屋戸の騒動で、
天より追放された須佐之男命は、
出雲の国の鳥髪という地に降りた。
彼が肥の河のほとりを歩いていると、
河上から箸が流れてきた。
このようなところに
人が住んでいるのであろうかと
不思議に思った須佐之男命は、
上流に向かって歩き出した。

すると、年老いた夫婦と、
一人の美しい娘が泣いていた。
須佐之男命は彼らに悲しむその訳を尋ねた。
翁は答えた。
「私は国つ神であり、
山の神である大山津見神の子で、
名は足名椎、妻は手名椎と申します。」

須佐之男命は、
更に泣いている訳を尋ねた。
「実は、私には八人の娘がおりました。
ところが、八岐の大蛇という怪物が、
毎年、越の国からやって来て、
娘を一人ずつ連れ去り、
食べてしまうのです。」



「とうとう、この櫛名田比売一人になってしまいました。そして今年もまた、八岐の大蛇がやってくる時が近づきました。それゆえ私どもは、なす術なくただ泣いているのでございます。」と答えた。

須佐之男命は大蛇の様子を尋ねた。「そやつの身体はひとつですが、その身体はあまりにも巨大で、苔や杉が生えており、その長さは、八つの山と八つの谷を越えるほどです。頭は八つに分かれ、八つの尾を持ち、その目は赤く燃え、腹からはいつも血が滴っております。」
「何ということだ。よし、私とその怪物を退治しよう。」
須佐之男命は彼らに告げ、言葉が続いた。「その代わり、お前たちの娘を私の嫁にくれぬか。」

年老いた夫婦は、彼に身分を尋ねた。彼は、自分は天照大御神の弟、須佐之男命であることを告げると、二人は肝をつぶすほど驚き、喜んで、その申し出を受け入れた。

次に、須佐之男命は姫を櫛に変えて、自分の髪に挿した。これで、姫を守ることが出来る。大蛇を退治するために、須佐之男命は皆に命じた。「酒を造りなさい。そして、家の周りに垣根を設け、そこに八つの入口を作り、それぞれの入口の前になみなみと酒の入った大樽を置きなさい。」
準備は整った。ほどなく、この世の終わりかと思われるほどの大音響と共に、大地を揺らし、木々をなぎ倒しながら、大蛇が現われた。ところが、酒の匂いに惹きつけられた大蛇は、須佐之男命の思惑通り、八つの門の酒樽ごとにその八つの頭を入れ、むさぼるように飲み干し、眠ってしまったのだ。

須佐之男命はすかさず、

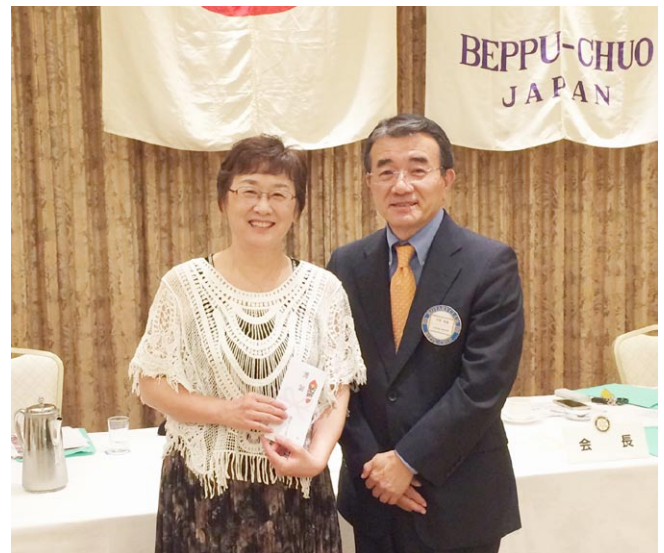
十拳の剣を取り出し、大蛇の首を切り落とし、身体を切り裂いた。

すると、切り裂かれた大蛇の尾から神聖なる太刀、草薙の剣が現われた。

須佐之男命はこの剣を姉の天照大御神に献上した。須佐之男命は出雲に大変美しい場所を見つけ、そこを須賀と名づけられ、宮殿をお建てになった。彼が須賀宮を作られた時、その地より雲が湧き立ち昇るのをご覧になり、「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに八重垣作る その八重垣を」
(幾重にも重なる雲が立ち昇る。大空に湧き立つ雲は八重の垣となり、中に籠もる我ら夫婦を守ってくれる。その素晴らしい八重の垣よ。)と御歌をお詠みになり、これが、日本最初の和歌となった。

須佐之男命は櫛名田比売と結婚して、この宮殿にお住みになった。この結婚から大国主神の先祖となる八島土奴美神が生まれた。

しかし、この結婚は長くは続かず、彼は地下の根の堅州国へ去った。



森北実と平野直前会長